

赤い羽根 県域公募助成・テーマ募金 助成交付式がありました。

山口県共同募金会から県子連に対して助成していただくことになりました。
ありがとうございます。

また、県内全域の子ども会が毎年街頭での募金活動を継続していることに対して心から敬意を表し、感謝申し上げます。

助成団体を代表して決意表明を行いました。

<決意表明>

地域課題の解決に取り組む上で、2点にふれたい。

第一に、団体同士の連携・協力。現在までに地域づくりにかかわる多くの流れがある。例えば、教育分野ではコミュニティ・スクールや学校地域協働活動、課題解決学習（PBL）、探求学習など。まちづくり まちおこし 地域活性化 地方創生 地域デザインなどの言葉があり、担当官庁も内閣府、文部科学省、経産省、総務省、国土交通省、厚生労働省等にまたがっている。これらの動きがバラバラで重複部分も見られる。単独の団体で地域課題を解決することは困難であり、団体間の連携・協力、ネットワークの活用が強く求められる。

第二に、人材育成。山口県は「新たな時代の人づくり推進方針」（R3）を策定し、若者の育成を推進している。各団体は世代交代や女性の活躍が求められているが、リーダー養成には時間がかかるため、様々な研修機会が必要。また、各世代のリーダーがいれば、スムーズに意思疎通ができる。昔の若者が熱弁をふるっても今の若者の心には響かない。「ナナメの関係」や「憧れの連鎖」は隣接する世代の方が生まれやすい。

各団体が助成対象の事業計画を実行することが地域課題の解決につながる。
楽しさとやりがいを感じながら取り組んでいきたい。